

あすなろ

静岡県伊豆市小下田 2492 駿豆学園 令和6年5月31日 242号
TEL0558-99-0248・FAX99-0258



満開の桜
とともにスタート!

新年度を迎え

園長 天良 昭彦

新年度を迎え二ヶ月が過ぎました。

駿豆学園では、令和六年度も昨年度までと変わらず、生活介護事業・施設入所支援・短期入所事業のサービスを提供する障害者支援施設として事業を継続しています。また、短期入所では、障害児者の重度化・高齢化や親なき後に備えるとともに、障害児者の地域移行を進めるため、各自治体で整備が進められている「地域生活支援拠点等」の機能のひとつ「緊急時の受け入れ・対応」を伊豆市と連携し実施します。

今年度は、三年に一度の障害福祉サービス報酬改定の年でもあり改定内容が示されましたが、地域生活への移行の推進や、重度障害者の支援に係る部分が手厚くなっているような印象を受けます。今後の入所型施設の在り方として検討し対応すべき事項とは思いますが、現状ではどちらも容易ではないと言わざるを得ません。また、利用者の通院支援に対する加算が新設されました。当施設の利用者の平均年齢は四月一日現在で四十六・五才です。一般的に見

るとけっして高齢とは言えませんが、医療機関への通院支援は毎年著しく増加しており、今年度もさらに必要性が高まることが予想されます。

なお、身体拘束の適正化や虐待防止等、権利擁護も引き続き適切に実施し、利用者の意思決定支援にも配慮するよう努力します。さらに、コロナ禍以降、感染症対策に重きを置いてきましたが、コロナウイルスに限らず感染症は施設にとつて大きな脅威であることに変わりありません。行事等を通じ地域との交流を進めつつも、基本的な感染対策を継続し徹底していきたいと考えています。

より良い支援の提供には、職員の資質向上が欠かせず、施設の専門性は職員一人一人のスキルの上に成り立っています。施設内研修の充実と外部研修への積極的派遣で職員のスキルアップも図って参ります。現在、国家資格取得に向け業務の傍ら自己研鑽に励んでいる職員が数名います。すでに社会福祉士又は介護福祉士の国家資格取得者は職員の半数近くおり、その大半が入職後の自己研鑽で有資格者となりました。科学的根拠と実践とのバランスの取れた専門職として利用者の支援に取り組んでくれることを期待しています。

適切な予算執行

総務課長 山口 深志

今年度は、例年よりも桜の開花がおくれたためか、開花から散るまでの期間が短かったように感じます。

ニュースなどでよく耳にしましたが、今年の四月の日本に平均気温は過去最高を大きく上回り、平年より二・六七度も高く、各地で高温の記録を更新したようです。原因として考えられるのは、北極からの寒気の流出がほとんど見られず、日本だけでなくアメリカやヨーロッパなどの海外でも高温傾向となったようです。

この先、三カ月の平均気温の予報でも高温傾向が続いていく見込みで、今年も暑い夏になると予想されます。利用者の中には、体温調整が苦手な方もいるため、熱中症などには十分気を付け、水分補給や適正な室温管理を行ないながら個々の特徴や日々の体調管理に気を配り、体調不良など利用者の変化に敏感に対応できるようにしていきたいと思えます。

施設長寿命化のための修繕を令和四年度から実施しています。利用者の生活に直接かかわる緊急性の高い箇所から順番に行なっています。今

年度も行う予定ですが、予算の範囲内でなるべく多くの修繕が出来るように設計し実行していきます。

ここ数年の物価の上昇により駿豆学園の財政が圧迫されています。電気やガスなどの光熱費は、国の補助事業「電気・ガス価格激変緩和対策事業」により金額が抑えられていましたが、今年の五月使用分で終了してしまつたため六月以降は電気・ガス共に使用料金が高くなつてしまつています。利用者五十名が生活していく中で、電気等の節約には限度があるため、ますます財政が厳しくなることが予想されます。また、人件費の上昇が顕著にみられ、こちらも財政を大きく圧迫していますが、光熱費や食材費などと同様に削減することが難しい支出となりますので、対応に非常に苦慮しているところです。

令和六年度は障害者総合福祉法における報酬改定の年です。物価上昇をふまえて報酬が増額となることを期待していました。実際には、物価上昇や人件費の増額には追い付いていない印象ですが、一定の条件をクリアして算定できる加算をつけられるように請求情報を精査し、財政難を乗り切り、利用者が安心して生活できるように予算執行を心がけます。

新年度がスタートしました

支援課長 木村 悦治

年度末のやよいの会では、次年度のケース担当と職員の係分担を発表しています。利用者の皆さんからの要望により慣例となっており、発表するのは支援課長の役目で、ちょっと緊張しながらお伝えをしています。特にケース担当や外出係は楽しみにしている所であり、拍手がでたりもします。利用者の皆さんにとってはとても興味があり、聞く姿はとて真剣で、私達職員もその思いをしっかりとして受け止め支援に繋げていかなければならないと責任を感じる時間でもあります。

令和六年度がスタートして二ヶ月が過ぎました。日中活動は本年度も作業グループ「大地」と「あおぞら」の編成を基本とし、各クラブ活動や外出など利用者の皆さんの意向をもとに新たな係分担での支援が始まっています。何よりも健康第一で、基礎体力の維持を重視し、歩行活動を中心に体を動かし、活気ある生活が送れるようにしていきたいです。中でも外出活動は利用者の皆さんが一番楽しみにしている活動です。感

染症等の心配がまだありますが、基本的感染対策をしっかりと行い。更に幅を広げていけるよう計画をしていきます。リフレッシュツアーはグループを編成し五月より順次計画されています。また六月には運動会をご家族とボランティアが参加し行う予定となっております、地域の方々との交流も深めていき、利用者の方々の社会参加の機会も増やせていければと思います。

利用者さんの状況として、加齢に伴う、体力や機能の低下が見られるとの課題が挙げられる事が多くなってきました。年は取っていくものですが、皆さんまだまだ元気です。これができる、できなくなつたとのマイナス思考ではなく、できること、楽しいこと、そして楽しみを広げられるようにしていきたいです。

ケース担当を中心に利用者の皆さんの個々の様子をよくみていき、対話をしながら、ご本人の意向を大切にしていけることで、より良い支援となるよう職員間での連携をしっかりと図っていきます。

利用者の皆さんに寄り添いながら、楽しみと活気のある生活となるよう支援をしていきます。

本年度もよろしくお願い致します。

珈琲 coffee COFFEE

看護師 山田 美津子

利用者の皆さんがとても大好きな飲み物の一つです。私も毎日2-3杯は飲んでいきます。

二十歳くらいの頃に、たまたまそばに居た年上のお姉さんが、ブラック珈琲を飲んでいたので見てカッコいいなあと思ったのがきっかけだったと思います。

お砂糖もミルクも入れないでどうして飲めるのか聞いてみると「珈琲豆によっていろいろな味があるから、ブラックで飲まない良さがわからないよ。」と教えてくれました。

そこからブラック珈琲へのチャレンジが始まりお店で種類の珈琲を飲み比べしてみたり、家では、いろんなメーカーのインスタント珈琲を飲んでいるうちに、珈琲はブラックが一番となりました。

最近では、多くの珈琲ショップがあり、気軽に飲めますが、家でも好みの豆を購入し自分で挽いて飲んでいきます。(淹れるのは主人ですが(笑))

何がきっかけで、好みが変わるのかわかりませんが、苦手でも試してみる価値はありそうです。

給食だより

栄養士 鍵山 智美

「手洗い」しっかりとやっていますか？手洗いは、厨房業務にあたる者としては常に意識的に行わなければならないものです。ビニール手袋を着用する前にも手洗いをし、アルコール消毒も行います。

作業前、トイレのあと、休憩後、食材検品・検収後、電話を使用した後、作業内容の変更時等々：業務に入ると、一日何回手洗いをするか分かりますが、このようにして利用者の皆さんの食事を、安全に提供できるよう日々業務にあたっています。



活動の紹介

大地

生活支援員 勝呂 和也

今年度は職員の入替わりもありフレッシュなメンバーで「大地」がスタートしました。木工作品の制作や、様々な作業に取り組み、歩行やマラソン等を通じて身体機能の維持・向上を図ると共に自立した生活態度を培う事を目標に活動していきます。皆さんの特性を生かした作業を提供し、働くという意識の高揚と社会参加を高めていけるよう努力してまいります。



丁寧な仕事・体力づくりに取り組みます

駿豆学園は、海、山に囲まれた自然に恵まれた場所にあります。「あおぞら」は、その素晴らしい環境を活用した活動をしています。海辺では潮の香りを感じつつ富士山を仰ぎ、山合では季節折々に咲く花の彩を楽しみながら歩いています。利用者の皆さんが、活動を通して四季を感じ、心身をリフレッシュして、豊かな生活を送ることが出来るよう支援しています。

あおぞら

生活支援員 山田 欣恒



四季を感じリフレッシュ!!

「お出かけ」を楽しみましょう

生活支援員 朝香 由起子

今年度は、利用者皆さんの希望を取り入れながら、「お出かけ」気分を、より楽しめるような企画を考えていきたいと思えます。季節ごとの景色や草花を見に出かけたり、美味しい食事やおやつを食べて、皆さんの気分もリフレッシュできるといいです。皆さんが安全に楽しく出かけられるよう、職員一同心掛けていきます。どこに出かけるのか、毎月の「お出かけ」を楽しみにしていただきたいと思います。



青空のもとお出かけしましょ♪

「表現する楽しさを」音楽クラブ

生活支援員 出川 奈央



リズムに合わせて♪

今年度も3グループ編成で利用者さん一人ひとりに合った音楽活動を実施していきたいと思えます。音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたり、好きな音楽を聴いたり、歌ったりしながらそれぞれの表現を楽しんでいきたいです。行事や日中活動でみんなが一緒に音楽を楽しみ、笑顔あふれる活動になるよう考え、提供していきたいと思えます。

今年のスポーツクラブは、月ごとに各班で利用者さんに合った計画を立て、身体を動かし、楽しみながら心身ともに健康の維持を図っていただけだと思います。

また、スポーツ大会に参加したり、時には体をほぐせるようなストレッチを取り入れたりして、心のリフレッシュや身体のリラクゼーションも体験できるように楽しい活動にしていきたいと思います。

スポーツクラブ

生活支援員 土屋 智也



体力の維持、向上を目指して…

「楽しみながら」美術クラブ

生活支援員 梅田綾乃

今年度の美術クラブは、様々な素材を用いた作品製作を計画しています。技法や用具も色々な方法で表現し、世界で一つだけの作品に仕上げられるよう、考えております。作品は伊豆市文化祭や愛護ギャラリー展に出展しクリスマス会でも毎年展示しています。それぞれの個性あふれる作品になるよう、職員もアイデアを生かし、楽しく活動を進めていきたいと思えます。



アイデアを引き出します！

「おやつは生活の楽しみの一部であり、利用者さんの好みやニーズに合わせて工夫して提供していく」

今年度のおやつクラブではこのことを大切にしていきたいと思っております。また、夏にはかき氷、一月にはどんど焼き（団子）を行うことで、四季の移ろいを感じてもらい、お菓子を食べるだけではない、楽しい時間と空間を提供していきたいと思っております。

おやつクラブ

生活支援員 福田 敏行



楽しい時間をすごせますように

安全対策・権利擁護委員会

生活支援員 佐藤 順子

今年度「安全対策・権利擁護委員会」は、虐待防止責任者の園長をはじめ、総務課長、虐待防止受付担当の支援課長、男子棟長、女子棟長、看護師による六名の委員でスタートをしました。

令和六年度より当委員会は虐待防止対策委員会、身体拘束適正化対策委員会、感染症対策委員会を兼ねる事とし、毎月開催し各案件等につき検討、検証をしていきます。

虐待防止対策委員会、身体拘束適正化委員会では、身体拘束・指導室隔離の実施状況についての確認、権利侵害となりうる不適切対応等の意見の収集を行い、その検証結果を職員会で報告し職員全員に周知徹底を図っていきます。

感染症対策委員会では、県及び、近隣における感染状況の確認、感染防止対策を検証し、施設内感染の防止に努めていきます。

また、職員研修において「虐待防止・権利擁護」「感染症」について、勉強会を行い、安心・安全な生活に向けて取り組んで参ります。



富士サファリパーク

箱根旅行♪

今年度もいろいろな土地へおもむき、活動の場を広げていきます

花の苗を頂きました。

学園周囲の草刈りをして頂きました。

国際ソロプチミスト伊豆天城様

天理教西浦分教会様

いつもありがとうございます。

ヤクルト様より寄贈

タオルとぞうきんを頂きました。

伊豆中央地区更生保護女性会様

年間予定

- 6 / 2 (日) 運動会
- 10 / 20 (日) 駿豆ふれあい フェスティバル
- 11 / 15 (金) 静岡オレンジ マラソン大会
- 12 / 6 (金) ~ 12 / 9 (月) 愛護ギャラリー展
- 12 / 22 (日) クリスマス会
- 3 / 26 (水) やよいの会

ボランティアのお願い

学園では、縫い物や草取り、その他の軽作業等のできる方を募っています。短い時間でも結構ですので、駿豆学園にお出掛けいただけませんか。お待ちしております。

シヨートステイのご案内

在宅の方で、ご家族のご都合により、シヨートステイを希望される方は、お気軽にご相談ください。問い合わせ相談は、随時受け付けています。

ふれあい広場

- 善意を寄せられた方々—
- 東静岡ヤクルト販売(株)様
- 伊豆中央地区更生保護女性会様

- 国際ソロプチミスト伊豆天城様
 - 金刺 甚一郎様
 - 奉仕をされた方々—
 - 天理教西浦分教会様
- 皆様の「厚意」に御礼申し上げます。又、アルミ缶回収に御協力下さった方々にも厚く御礼申し上げます。

【お知らせ】

面会をご希望の方は、事前に電話にてご確認ください。パソコン等を利用したりモートでの面会も実施しております。駿豆学園ホームページでもあすなるを閲覧出来るようになっていきます。

アドレスは
www.sunzugakuen.jp/ になります。
ぜひ御覧ください。

編集後記

晴れわたった空に、新緑の青葉。すがすがしさを感ずる季節になりました。今年度がスタートし、早いもので二ヶ月が経ちます。時間の流れは早いなど、日々感じます。毎日を無駄にしないようにと思います。今年度のあすなるも読んでくださる皆様に、駿豆学園の様子や利用者の皆さんの沢山の笑顔をお届けできるよう頑張りたいと思います。